



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月1日

上場会社名 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4828 URL http://www.to-be.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 大澤 正典
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務管理本部長 (氏名) 片山 博 (TEL) 03-3510-1600
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 9,465 | △2.1 | 280 | △51.9 | 277 | △52.5 | 181 | △45.4 |
| 29年3月期第3四半期 | 9,673 | 7.4 | 583 | 125.9 | 584 | 127.1 | 331 | 109.1 |

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 181百万円(△45.4%) 29年3月期第3四半期 331百万円(109.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第3四半期 | 30.18 | — |
| 29年3月期第3四半期 | 55.26 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第3四半期 | 6,587 | 3,702 | 56.2 |
| 29年3月期 | 6,668 | 3,670 | 55.0 |

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,702百万円 29年3月期 3,670百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 8.00 | — | 14.00 | 22.00 |
| 30年3月期 | — | 11.00 | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | — | — | 11.00 | 22.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-------|------|-------|-----------------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 |
| 通期 | 13,300 | 0.1 | 500 | △30.1 | 490 | △31.2 | 280 | △36.2 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) Toyo Business Engineering U.S.A. Inc. 除外 1社(社名) -

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年3月期3Q | 6,000,000株 | 29年3月期 | 6,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期3Q | 534株 | 29年3月期 | 534株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 30年3月期3Q | 5,999,466株 | 29年3月期3Q | 5,999,466株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 7 |
| (四半連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が緩やかに増加し、企業収益が改善するなかで設備投資は増加傾向を続けており、景気は緩やかに拡大しています。

情報サービス産業におきましては、顧客の情報化投資姿勢は必ずしも一様ではないものの、情報化投資全体としては堅調に推移することが見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは、コンサルティングサービス、ソフトウェア製品、システム構築、運用・保守サービス、クラウドサービス等、顧客の経営課題解決に貢献する付加価値の高いソリューションの提供に努めました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高10,504百万円（前年同四半期比9.0%増）、売上高9,465百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。利益面につきましては、前年同四半期に比し大幅に減益となりました。主因は、プロダクト事業における新製品の減価償却費増加、ならびにシステムサポート事業を展開する連結子会社で発生した時間外手当に対する一時金と同社の採算悪化による同事業の大幅減益です。営業利益280百万円（前年同四半期比51.9%減）、経常利益277百万円（前年同四半期比52.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益181百万円（前年同四半期比45.4%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①ソリューション事業

他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築につきましては、顧客のグローバル展開支援や情報の可視化を図る複合型ソリューションの提供を推進するとともに、顧客ニーズを踏まえた積極的な提案活動に努めました。当セグメントの受注高は6,549百万円（前年同四半期比1.4%増）、売上高は6,041百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

②プロダクト事業

自社開発ERPパッケージ「mcframe」につきましては、引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図り、ライセンス販売に注力いたしました。更に、新製品「mcframe 7」の販売促進と継続的なブランド力強化に取り組みました。当セグメントの受注高は3,806百万円（前年同四半期比29.0%増）、売上高は3,249百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。ライセンス売上高は1,535百万円（前年同四半期比3.6%増）となりました。

③システムサポート事業

東洋ビジネスシステムサービス株式会社が展開する運用・保守等のシステムサポート事業につきましては、引き続きシステムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は147百万円（前年同四半期比34.4%減）、売上高は174百万円（前年同四半期比28.4%減）となりました。

※ 自社開発製品「mcframe」のブランド統合により、プロダクト事業のライセンス売上の範囲を当連結会計年度より変更いたしました。これに伴い、ライセンス売上高の前年同四半期比は変更後の数値に組み替えて算出しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産につきましては、仕掛品の増加、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末と比較して83百万円減少し、4,374百万円となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末の総資産に占める流動資産の比率は66.4%であります。

また、固定資産につきましては、有形固定資産及び無形固定資産の取得が有形固定資産及び無形固定資産の減価償却額を上回ったことにより、前連結会計年度末と比較して2百万円増加し、2,212百万円となりました。

これらの結果、資産の部の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比較して81百万円減少し、6,587百万円となりました。

(負債の部)

負債の部の当第3四半期連結会計期間末残高は、短期借入金の増加、賞与引当金の減少、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比較して112百万円減少し、2,885百万円となりました。

(純資産の部)

純資産の部の当第3四半期連結会計期間末残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによる増加、剰余金の配当による減少により、前連結会計年度末と比較して31百万円増加し、3,702百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して1.2ポイント増加し56.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は平成29年8月3日公表の予想値より変更ありません。

なお、当社グループの業績特性としましては、受注案件の納期が各四半期末に集中する傾向があり、特に第2および第4四半期末にはこの傾向が一層顕著となります。このため、各四半期毎に業績は変動し、特に第2および第4四半期に大きく変動します。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 800,766 | 939,079 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,741,698 | 2,309,790 |
| 仕掛品 | 241,442 | 476,230 |
| その他 | 674,907 | 649,875 |
| 流動資産合計 | 4,458,815 | 4,374,975 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 133,550 | 129,589 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 1,543,670 | 1,548,462 |
| その他 | 0 | 0 |
| 無形固定資産合計 | 1,543,670 | 1,548,462 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 538,323 | 539,552 |
| 貸倒引当金 | △5,499 | △5,499 |
| 投資その他の資産合計 | 532,823 | 534,052 |
| 固定資産合計 | 2,210,044 | 2,212,105 |
| 資産合計 | 6,668,859 | 6,587,080 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 274,014 | 291,179 |
| 短期借入金 | 500,000 | 900,000 |
| 未払法人税等 | 211,497 | 18,648 |
| 前受金 | 616,061 | 584,075 |
| 賞与引当金 | 651,913 | 284,586 |
| 役員賞与引当金 | 35,000 | - |
| 品質保証引当金 | 35,639 | 12,643 |
| 受注損失引当金 | 17,508 | - |
| その他 | 656,243 | 793,886 |
| 流動負債合計 | 2,997,877 | 2,885,019 |
| 負債合計 | 2,997,877 | 2,885,019 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 697,600 | 697,600 |
| 資本剰余金 | 426,200 | 426,200 |
| 利益剰余金 | 2,547,420 | 2,578,500 |
| 自己株式 | △239 | △239 |
| 株主資本合計 | 3,670,981 | 3,702,061 |
| 純資産合計 | 3,670,981 | 3,702,061 |
| 負債純資産合計 | 6,668,859 | 6,587,080 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 9,673,023 | 9,465,114 |
| 売上原価 | 6,693,577 | 6,702,972 |
| 売上総利益 | 2,979,446 | 2,762,142 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,395,747 | 2,481,511 |
| 営業利益 | 583,698 | 280,630 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 897 | 907 |
| 為替差益 | 966 | - |
| その他 | 885 | 1,129 |
| 営業外収益合計 | 2,750 | 2,037 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,264 | 4,582 |
| 為替差損 | - | 404 |
| その他 | - | 24 |
| 営業外費用合計 | 2,264 | 5,011 |
| 経常利益 | 584,184 | 277,656 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 48 | 973 |
| 特別損失合計 | 48 | 973 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 584,135 | 276,683 |
| 法人税等 | 252,631 | 95,617 |
| 四半期純利益 | 331,503 | 181,066 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 331,503 | 181,066 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 331,503 | 181,066 |
| 四半期包括利益 | 331,503 | 181,066 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 331,503 | 181,066 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立したToyo Business Engineering U.S.A. Inc. を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。